

事業コード	H25-農-継-03		区 分	国庫補助	県単独
事業名	水産物供給基盤整備事業		部局課室名	農林水産部 水産漁港課	
事業種別	漁港整備		班 名	漁港漁村整備班 (tel) 018-860-1891	
路線名等	岩館地区		担当課長名	大竹 敦	
箇所名	八峰町八森字岩館		担当者名	高橋 隆二	
総合計画との関連	政策コード	02	政 策 名	融合と成長の新農林水産ビジネス創出	
	施策コード	02	施 策 名	新農林水産ビジネスの展開を支える基盤づくり	
	指標コード	02	施策目標(指標)名	水田フル活用の推進と生産基盤の整備	

## 1. 事業の概要

事業期間	H14 ~ H28 (15年)	総事業費	48.6億円	国庫補助率	50%																																																			
事業規模	防波堤L=575m、護岸L=365m、岸壁L=185m、臨港道路L=758m、増殖場A=1.3ha																																																							
事業の立案に至る背景	岩館漁港は、県最北端の青森県境に隣接する八峰町岩館に位置し、本漁港沖合は対馬暖流の2分枝の合流点で、付近一帯は好漁場を間近に控え、古くから沿岸漁業の根拠地として利用されている。本漁港は、自然岩礁を利用して外郭施設を配置したため、泊地は狭隘で十分な操船水域が確保できない状況にあった。そのため、新たな係船岸と漁港施設用地を確保するため、旧漁港施設の港外側に外郭施設を拡張して新たな水域・係留施設等を設けるとともに、荒天時でも安全に係留できるよう泊地の静穏度を向上させる整備を行っている。																																																							
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防波堤や岸壁の整備による荷揚げ待ち時間の縮小及び出漁機会の増加</li> <li>・イワガキ増殖場と魚礁漁場の造成によるつくり育てる漁業の推進</li> <li>・臨港道路の整備による水産流通の効率化</li> <li>・藻類の生育に適した防波堤等基礎マウンドを活用し、水域環境の保全を図るほか、アワビ・イワガキ等を保護</li> </ul>																																																							
事業費内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>評 価 時</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,640,000</td> <td>4,855,000</td> <td>215,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>4,369,500</td> <td>4,566,000</td> <td>196,500</td> <td rowspan="3">西護岸改良の追加</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>100,000</td> <td>109,000</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>170,500</td> <td>180,000</td> <td>9,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>2,320,000</td> <td>2,427,500</td> <td>107,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>1,772,000</td> <td>1,932,000</td> <td>160,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>350,800</td> <td>280,700</td> <td>-70,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>197,200</td> <td>214,800</td> <td>17,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>防波堤 575m 護岸 300m 岸壁 275m 臨港道路800m</td> <td>防波堤 575m 護岸 334m 岸壁 185m 臨港道路758m</td> <td>護岸 34m 岸壁 -90m 臨港道路-42m</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>						計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	事業費	4,640,000	4,855,000	215,000		経費内訳	工事費	4,369,500	4,566,000	196,500	西護岸改良の追加	用補費	100,000	109,000	9,000	その他	170,500	180,000	9,500	財源内訳	国庫補助	2,320,000	2,427,500	107,500		県 債	1,772,000	1,932,000	160,000		その他	350,800	280,700	-70,100		一般財源	197,200	214,800	17,600		事業内容	防波堤 575m 護岸 300m 岸壁 275m 臨港道路800m	防波堤 575m 護岸 334m 岸壁 185m 臨港道路758m	護岸 34m 岸壁 -90m 臨港道路-42m		
		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等																																																			
事業費	4,640,000	4,855,000	215,000																																																					
経費内訳	工事費	4,369,500	4,566,000	196,500	西護岸改良の追加																																																			
	用補費	100,000	109,000	9,000																																																				
	その他	170,500	180,000	9,500																																																				
財源内訳	国庫補助	2,320,000	2,427,500	107,500																																																				
	県 債	1,772,000	1,932,000	160,000																																																				
	その他	350,800	280,700	-70,100																																																				
一般財源	197,200	214,800	17,600																																																					
事業内容	防波堤 575m 護岸 300m 岸壁 275m 臨港道路800m	防波堤 575m 護岸 334m 岸壁 185m 臨港道路758m	護岸 34m 岸壁 -90m 臨港道路-42m																																																					
事業の進捗状況	公共事業費の抑制により遅れている。																																																							
事業推進上の課題	平成24年4月、12月の爆弾低気圧により護岸からの越波による荷さばき所の浸水被害が発生しており、漁業者から速やかな対策を要望されている。																																																							
関連する計画等	「ふるさと秋田元気創造プラン」水田フル活用の推進と生産基盤の整備 「ふるさと秋田農林水産ビジョン」漁港・漁場等の生産基盤の計画的な整備																																																							
情勢の変化及び長期継続の理由	東日本大震災を受けて漁港海岸施設の耐震・耐津波対策が強く求められており、当地区の外郭・係留施設において耐震・耐津波の検証を行い各種対策を実施する。																																																							
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	漁獲量																																																						
	指 標 式	漁獲量																																																						
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無																																																			
	目 標 値 a	782	t	データ等の出典	a=計画時の将来見通し																																																			
	実 績 値 b	693	t		b=H23年港勢調査																																																			
達成率 b / a	88.6	%	把握の時期	平成25年3月																																																				

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	指摘事項への対応

## 2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	<p>本漁港は県北部圏域における生産拠点漁港に位置付けられ、県北部地域の漁業生産に中核的な役割を担う漁港である。</p> <p>水産業は八峰町の基幹産業であり、漁業活動の根幹となる漁港漁場の整備は必要性が高い。</p> <p>漁業者が苦慮している事象を解消するため、港口・港内静穏度の確保や利用しやすい係留施設の整備及び漁場の造成などを行うもので必要性は高い。</p>	17点
緊 急 性	<p>本漁港は特に港口部の静穏度が低いため出漁日数が少なく操業の早期切り上げも見られ漁業活動に支障を来していることから、沖防波堤の整備による静穏度確保が急務である。</p> <p>係留施設及び操船水域の不足など漁船の安全な停泊や係留作業に支障を来しており、岸壁等の整備が急務である。</p> <p>港内の道路が狭隘なことから漁獲物の運搬や水産物の流通に支障を来しているほか、津波発生時の緊急避難路として、道路の整備が急務である。</p>	16点
有 効 性	<p>静穏度確保による出漁日数の増加や岸壁の整備による陸揚げ時間の縮小などにより漁業収入の増加が見込まれる。</p> <p>漁労作業の安全性と効率化が図られることにより、就労環境が改善されることから新規就業者の確保が期待できる。</p> <p>防波堤マウンドは藻類の繁茂が確認されており、ハタハタの産卵場や有用魚介類の幼稚魚の生育場としての効果が見込まれる。</p>	18点
効 率 性	<p>費用便益比率は1.10で効率的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総費用の現在価値 7,508百万円</li> <li>・総便益の現在価値 8,285百万円</li> </ul> <p>既存ブロックを活用するほか、防波堤のケーソンの中詰め材に港内浚渫土を活用するなど、防波堤等の建設コスト縮減を図っている。</p>	11点
熟 度	<p>漁業者との意見交換会を通じ地区内の要望を事業計画に反映させ整備を進めており、関係者の理解が得られている。</p> <p>八峰町は主要産業である水産業の振興を図るため漁港施設整備の必要性を認め、地域振興及び地域防災の面からも漁港施設の充実を求めている。</p> <p>背後集落では漁業集落排水処理施設を整備し、港内や周辺海域の水質改善や集落の生活環境改善を図っている。</p>	20点
判 定	<p>ランク ( )</p> <p>事業判定ランクは で優先度は高く、早期の効果発現に向けて引き続き実施すべきと考える。</p>	82点
総 合 評 価	<p>継続 改善して継続 見直し 中止</p> <p>各観点の評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、県民に安全で新鮮な魚介類を安定して供給するため、事業を継続することが妥当である。</p>	

## 3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

事業の実施にあたっては、引き続き環境配慮対策とコスト縮減に努める。
-----------------------------------

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 漁港漁場整備事業（漁港整備）

事業コード ( H25-農-継-03 )  
箇所名 ( 八峰町八森字岩館 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	1	
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3		
		一般県民を対象とした調査を行っていない	1		
	社会経済状況変化による需要変化	増大している	5	3	
		特に変化はない	3		
		低下している	1		
	事業箇所の現状				
	漁業活動の現状	操業において支障を来している	5	3	
		操業にある程度支障を来している	3		
		操業に支障を来していない	0		
今後の具体的な効率性見込み					
出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される	5	5		
	出漁日数は増加しないと推計される	0			
	漁業作業時間が短縮する	5			
作業時間の短縮	漁業作業時間は短縮しない	0	5		
計			25	17	
緊急性	漁業活動における支障				
	現況の港内静穏度	所要安全波高の2倍以上で事故の危険がある	5	3	
		所要安全波高より高く出漁・係船に支障がある	3		
		所要安全波高を満たしている	0		
	現況の漁港施設状況	老朽化又は機能不全のため施設利用ができない	5	3	
		老朽化又は機能不全のため利用上支障がある	3		
		特に施設利用上の支障はない	0		
	事業未実施の影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい	5	5	
事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい		1			
他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い	5	5		
	関連する他事業との調整で緊急性は低い	0			
計			20	16	
有効性	今後の具体的な有効性見込み				
	水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される	5	5	
		陸揚げ量は増加しないと推計される	0		
	漁業の生産性	生産コストが縮減する	3	3	
		生産コストは縮減しない	0		
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる	5	5	
		漁業活動の安全性は高まらない	0		
	漁業就業環境	就業環境が良化する	2	2	
		就業環境は良化しない	0		
	上位計画への貢献度				
ふるさと秋田元気創造プラン	戦略を支える取組として貢献度が高い	5	3		
	戦略を支える取組に間接的に貢献する	3			
	戦略を支える取組には貢献度の低い事業である	1			
計			20	18	
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1.2 以上	5	3	
		B / C = 1.0 以上 1.2 未満	3		
		B / C = 1.0 未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減計画の実施状況	実施している	5	5	
		実施を予定している	3		
実施を予定していない		0			
当初計画との比較					
当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内	5	3		
	10%以内の増加	3			
	10%以上の増加	1			
計			15	11	
熟度	事業の推進				
	事業の推進体制	協議会等の推進体制が設立済み	5	5	
		推進体制の設立準備中	3		
		推進体制設立の予定なし	0		
	将来の維持管理				
	維持管理体制	管理者・受託者が確定済み	5	5	
		協議中であるが合意見込み	3		
		未定である	0		
	環境との調和への配慮状況				
	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5	
配慮について検討している		3			
特に配慮はない		0			
事業の進捗状況					
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5		
	将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない	3			
	課題解決の見込みが無く事業が停滞する	0			
計			20	20	
合計			100	82	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		